

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ経営理念

人と、地球の、明日のために。デジタルとデータの力を活用し、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー実現に貢献。

② 中長期の経営戦略

1. デジタルエボリューション

サービス化・リカーリング化を推進。データサービスを収益の柱とする企業へ変革。

2. デジタルトランスフォーメーション

DE（デジタルエボリューション）をプラットフォーム化。様々なプラットフォーム連携へ発展。

3. クアンタムトランスフォーメーション

複数プラットフォームが業界を超えて繋がる量子の世界を実現。

4. 内部硬直性の克服

事業単位での従来運営体制を改革。デジタル化・サービス化に適合した組織へ転換。

③ 対処すべき課題

① 内部管理体制の強化

- ・ 2022年7月、米国子会社で約360万米ドルの資金流出事案が発生。再発防止策実施。
- ・ 2023年2月、代表執行役兼取締役が交際費処理違反で辞任。交際費管理ルール強化推進。
- ・ グループ内一斉教育・規程類点検・交際費網羅チェック等の施策推進中。

② 株主価値向上と経営判断

- ・ 2023年3月、日本産業パートナーズ傘下TBJHによる公開買付に同意。6月に応募推奨に転換。
- ・ 国内外の競争法令・投資規制法令上の手続完了が必要。期間は不確実。
- ・ 手続未完了等で契約解除される可能性あり。

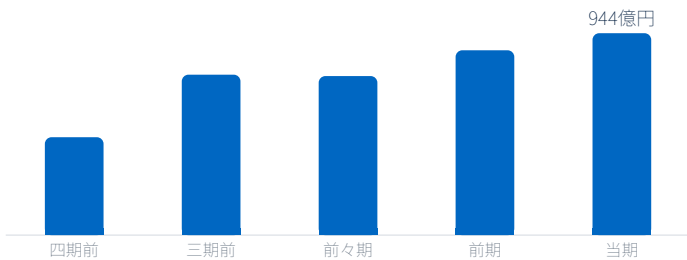
③ サステナビリティ経営の推進

- ・ エネルギー不足・資源枯渇・気候変動など社会課題への長期的対応。
- ・ 短期利益のみでなく、企業活動の社会インパクトを長期的に考慮。
- ・ 東芝グループサステナビリティ基本方針に基づく経営推進。

面接で使えるポイント

- ・ 東芝グループは『人と、地球の、明日のために』を理念に、デジタルとデータで社会課題解決に貢献。
- ・ 2022年6月発表の経営方針で、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー実現を追求。
- ・ 内部硬直性と外部硬直性の2つ課題克服により、DE・DX・QXへの発展を目指す。

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
60点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 62.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
926万円平均年齢
46.1歳平均勤続
19.8年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース＋一言

